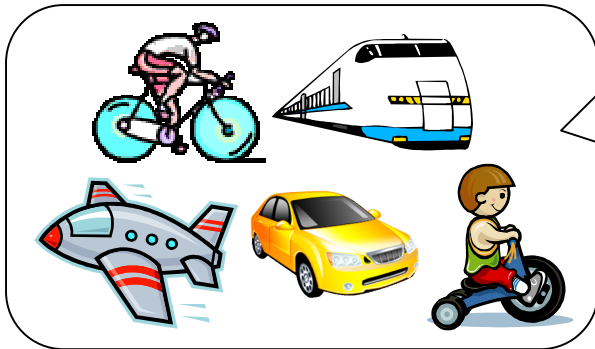


## 教科書素材は、代表のもの！ 整理されたもの！

「代表で示されているもの以外に、どんな素材があるのかな？」「整理される前には、どんな活動があったのかな？」と考え活動に含めると、学びが深く楽しくなる。

### 例1：なんばんめ？・・・順序数

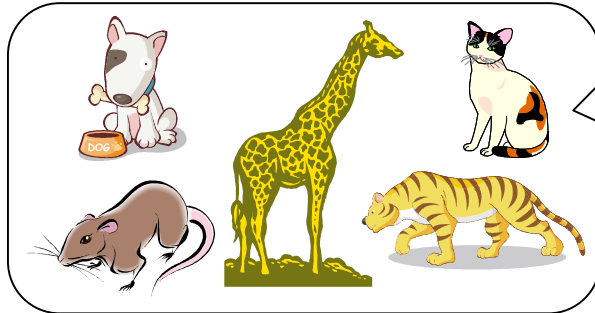
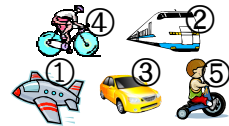
「前から」「上から」「右から」なんばんめ・・・という教科書の問いかけだけで終わらせない。例えば、以下のような場面を提示して、順序数の理解を深める。



「速い順に、何番目？」



ばらばらに提示した状態のものを、このように子ども自身が順番に並べ替えたり、右図のように、番号を付けたりする活動を取り入れるようにする。

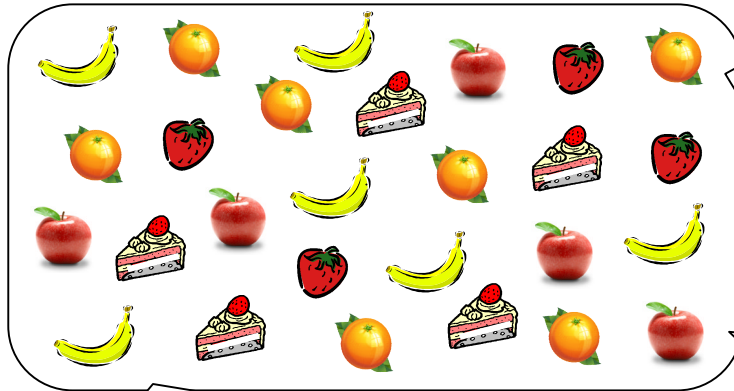


このような動物を提示するなどして、子どもたちに、問題を作らせてみる。

- A 「イヌは、強い順に何番目？」
  - B 「トラは、大きい順に何番目？」
  - C 「ネコは、速い順に何番目？」
  - D 「キリンは、好きな順に何番目？」
- 複数の答えに出合う。話し合いも活発に。

### 例2：いくつある？・・・個数

🍓🍓🍓・・・このように、1つの集合を整理して「いくつ？」と問いかけるだけで終わらせない。例えば、以下のような場面を提示して、個数の理解を深める。



ばらばらに提示した状態のものから、問いかけに応じて子ども自身が集める。そして数える。

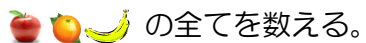
A 「バナナは、いくつ？」



B 「みかんは、いくつ？」



C 「くだものは、いくつ？」



C 「イチゴは、いくつ？」

🍓の数だけでなく、🍰にあるイチゴも含めて数える。🍓🍓🍓🍓🍓🍓🍓🍓 (9個)

問いかけに応じた集合体を判断させる。